

9 . オプション <ティーチング>

9.1 IFパソコンソフト

9.1.1 IFパソコンソフト

型式：IF - P 1

IFパソコンソフトでは、速度、加速、減速、位置、停止時間などのデータを設定でき、動作をカスタマイズすることができます。

なお、IFパソコンソフトは下記のSUSホームページよりダウンロードしてお使い頂けます。(ダウンロードして頂く際は無償です)

ダウンロード URL <http://www.sus.co.jp/>

IFパソコンソフト使用環境

項目	内容
パーソナルコンピュータ	Pentium 100MHz および同等の互換品以上を推奨
OS	Windows2000/XP/Vista/7 (32Bit 版) 日本語版 IBM PC、および PC/AT 互換機 (DOS/V) 64Bit OS では動作しない事がありますので、ご注意ください
メモリ	拡張メモリ 128MB 以上を推奨
ハードディスク	10MB 以上の空き
通信	RS-232C シリアルポートの COM1 ~ 16 までのいずれかが使用可能であること シリアルポートがない場合、USB シリアルコンバータを使用してください

Windows2000,XP,Vista,7は米国Microsoft Corporationの登録商標です。

9.1.2 IFパソコンソフト用通信ケーブル

型式：PC232 - 8 - CAB

IFパソコンソフトを使用される場合に必要となります。

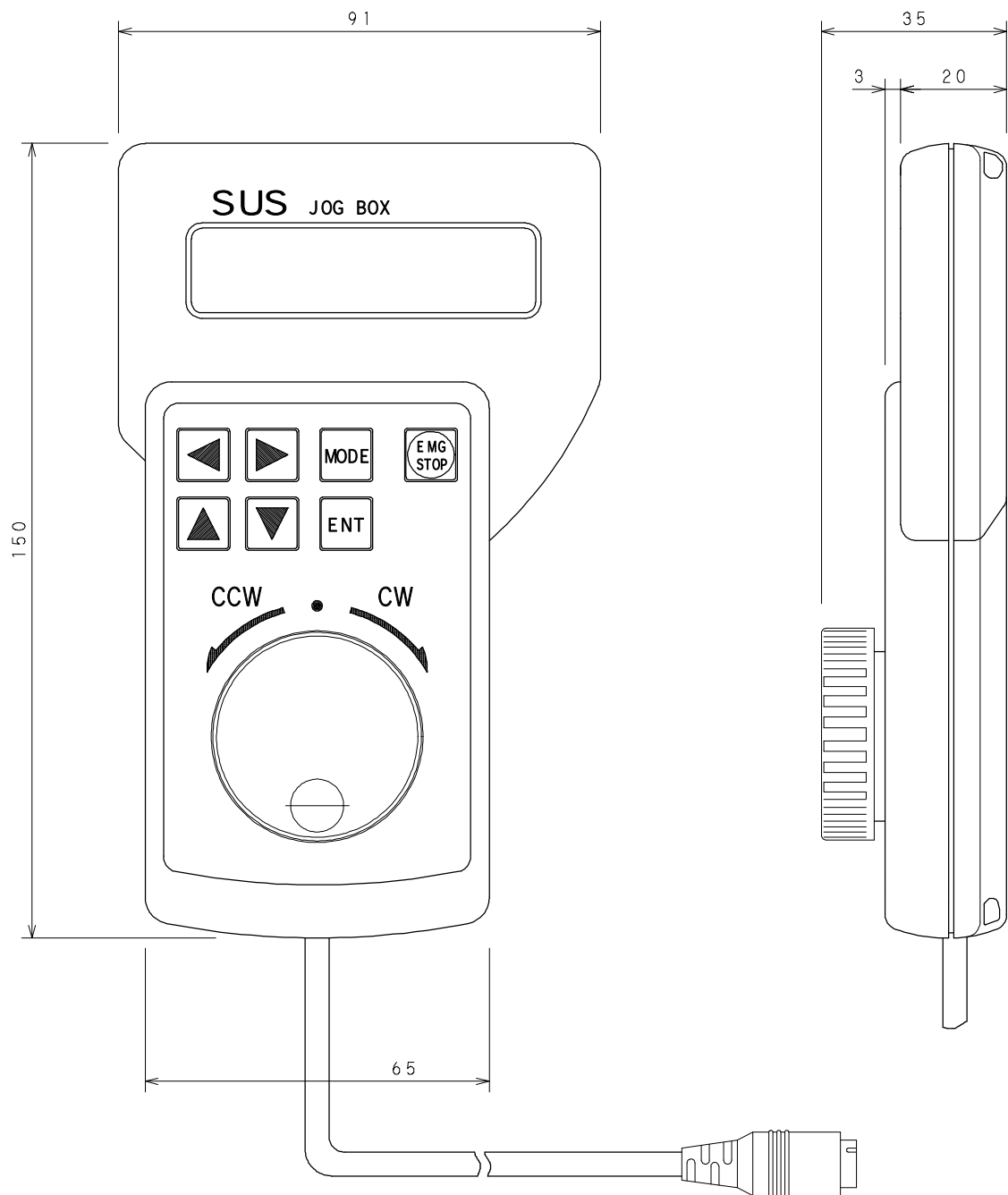
パソコン側コネクタ : DSUB 9S

コントローラ側コネクタ : Mini DIN 8P

9.2 IFジョグボックス

型式：IF-J2

IF-J2では、速度、加速、減速、位置、停止時間などのデータを設定でき、動作をカスタマイズすることができます。



9.3 手動機のパラメータ変更時のご注意

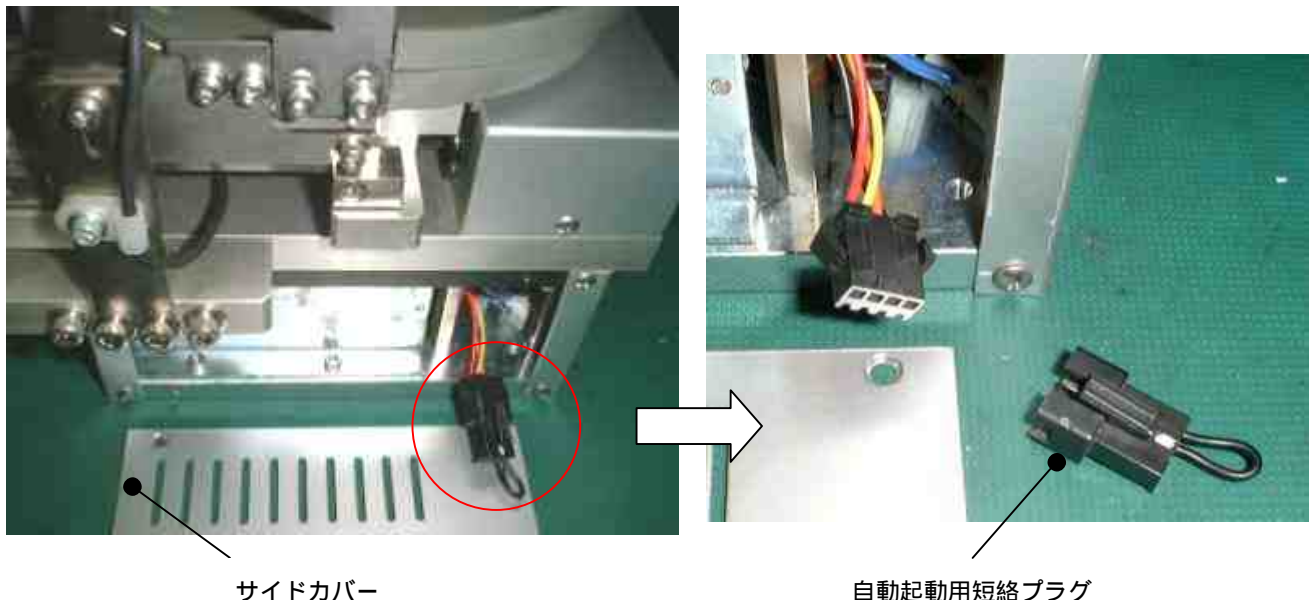
手動機は電源を入れると自動起動するように、プラグを短絡してあります。
(自動機の運転入力<RUN>信号に当たります)

運転入力<RUN>信号が入力されている状態ですと、パラメータの変更が
できませんので、パラメータ変更時には短絡プラグを外して頂く必要があります。
手動機のパラメータ変更は以下の手順で行ってください。

自動機では短絡プラグはありませんので、本手順は不要となります。



短絡プラグの取り付け・取り外しは必ず電源を切った状態で行ってください。



IFの電源を切ります。

レール取り付け側のサイドカバーを外します。

短絡プラグを外します。

パソコンソフト用通信ケーブルまたはIFジョグボックスをコントローラへ
接続してから、IFの電源を入れます。

このとき、IFの原点復帰は行いますが、整列動作は行いません。

パラメータを変更します(パラメータ書き込み時に自動原点復帰を行います)。

IFの電源を切ってから、短絡プラグを取り付けます。

再びIFの電源を入れると、自動原点復帰後、変更した動作パラメータでの
整列動作を行います。